

令和2年度 境港市の予算

区分	令和2年度 当初予算額
一般会計	170億5,000万円 (対前年度比1.4%減)
特別会計	102億8,250万円 (対前年度比3.3%減)
国民健康保険費	35億3,372万円
駐車場費	1,153万円
下水道事業費	24億6,579万円
高齢者住宅整備資金貸付事業費	531万円
介護保険費	37億5,608万円
土地区画整理費	160万円
市場事業費	6,837万円
後期高齢者医療費	4億4,010万円
計	273億3,250万円 (対前年度比2.2%減)

将来を見据えた財源配分を行いながら、「境港市まちづくり総合プラン」に掲げる「環日本海オアシス都市」の実現に向け、総仕上げとなる予算を編成

本市の財政状況は、徹底した行財政改革と規律ある財政運営により、市債残高の大幅な縮減や財政調整基金をはじめとする基金残高の増加など、目に見える形で改善し、自立・持続可能な財政基盤の確立が図られてきています。

令和2年度の当初予算は、境港市民交流センター（仮称）の建設に、防災行政無線システムの更新工事や第三中学校の大規模改造工事などの大型投資事業が加わる中、多様化する市民ニーズに対応するため、ふるさと納税を財源として積み増した基金の有効活用を行うなど、将来を見据えた財源配分を行いました。

また、計画の最終年度を迎える「境港市まちづくり総合プラン」において、将来都市像として掲げる「環日本海オアシス都市」の実現に向け、総仕上げの予算となるように、関連する事業には最大限配慮した予算を編成しました。

▶問い合わせ先
財政課財政係 ☎47-1012

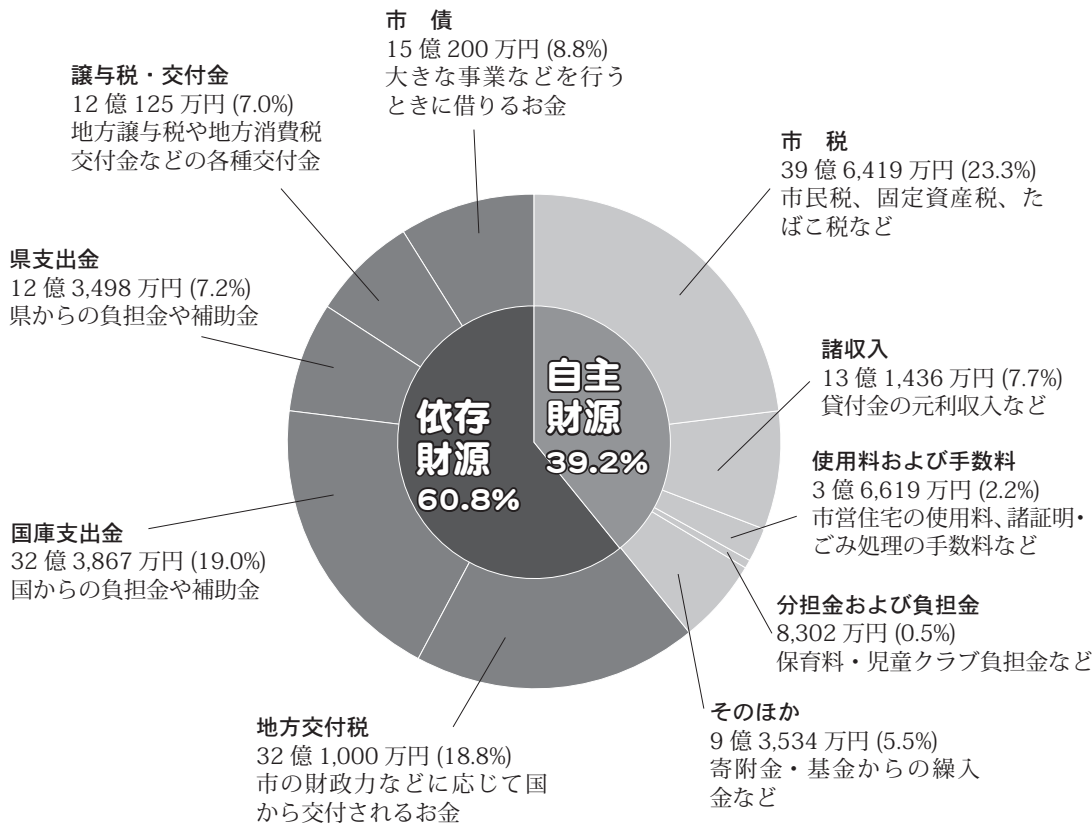


一般会計 予算総額 170 億 5 千万円

歳入

自主財源は、固定資産税の増額などにより市税の増加を見込みますが、保育の無償化の影響により分担金および負担金の減少を見込むほか、減値基金をはじめとする基金等からの繰入金の大幅な減などにより、前年度比 9・6% 減の 66 億 6 3 1 0 万円となっています。

依存財源は、境港市民交流センター（仮称）の建設に係る財源として市債が減少する一方で、国庫支出金が大幅に増加するほか、地方消費税交付金の増加などにより、前年度比 4・6% 増の 1 0 3 億 8 6 9 0 万円となっています。

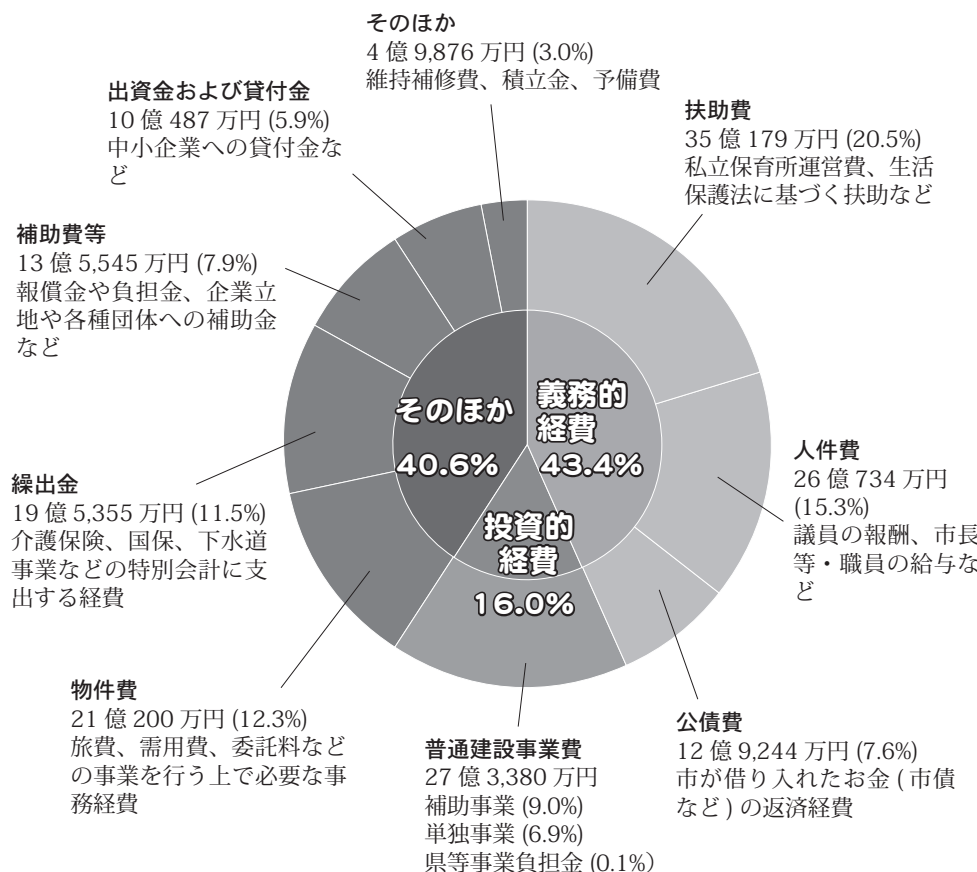


歳出

義務的経費は、公債費が減少したものの、会計年度任用職員制度への移行により人件費が大幅に増加したことから、前年度比 2・7% 増の 74 億 1 5 7 万円となっています。


投資的経費は、境港市民交流センター（仮称）の建設費の減などにより、補助事業費は減少したものの、防災行政無線システムの更新や市民温水プールの改修などに伴い、単独事業費が大幅に増加し、前年度比 3・5% 増の 27 億 3 3 8 0 万円となっています。

そのほかの経費では、会計年度任用職員制度への移行による物件費の減、プレミアム付き商品券の発行経費やレーザー級世界選手権大会の負担金の皆減などに伴う補助費等の減により、前年度比 7・2% 減の 69 億 1 4 6 3 万円となっています。



まちづくりプランにおける 主な取り組み

① 広域連携による一体的発展

※は新規事業

	事業	事業費	事業概要
	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金（共同実施事業分）	789 万円	国内外への観光プロモーションやビジネスマッチング支援を推進。令和2年度は、インドや台湾との経済交流の拡大のほか、圏域の産業発展を図るため「山陰いいものマルシェ」などを本市で開催。
新	中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	18 万円	中国横断新幹線（伯備新幹線）の早期実現のため、要望活動を行う推進会議への負担金。

② 全国ブランド「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興

	事業	事業費	事業概要
新	水産業6次化支援事業	2,000 万円	国際認証の取得を目指し、加工場の整備を行い漁業者の収入向上など地域産業の活性化を図る市内加工業者に対する支援。
	漁業就業者確保対策事業	3,615 万円	新規就業希望者を漁船員として雇用し、技術習得の研修を実施する漁協等への助成。
	中野港漁師と園児の交流事業	18 万円	保育園の園児が中野港の漁師とともに、水揚げの見学や魚に触れるなどの体験学習を実施。
新	アワビ放流支援事業	7 万円	アワビ放流事業を実施する漁協に対し、放流用種苗の購入費用の一部を助成。
新	水木しげるロード4000万人突破記念事業補助金	75 万円	水木しげるロードの累計入込客数4,000万人突破を記念して、記念セレモニー及び記念事業を実施。
新	水木しげる記念館企画展示室リニューアル事業	297 万円	水木しげる記念館内の企画展示室に、作品紹介等のパネルを展示するなどリニューアルを実施。
新	Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会負担金	821 万円	本市で開催される第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会の実行委員会に対する負担金。
	水木しげるロード街なみ環境整備事業（駅前公園改修）	2,849 万円	境港駅前公園において照明設備などの整備工事を実施。
	地域おこし協力隊推進事業	1,104 万円	新たな「地域おこし協力隊員」を受け入れ、伯州綿の栽培、PR活動などを推進。また、現在の隊員が本市で起業するために必要な経費を支援。

③ 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実

	事業	事業費	事業概要
新	『ほっとはあと』講演会開催事業	109 万円	社会にあるバリアを減らしていく必要性に気づく機会とするため、パラリンピック出場経験のあるアスリートによる講演会を開催。
新	聴覚障がい児（者）コミュニケーション支援事業	34 万円	筆談セミナーを開催するほか、市役所の窓口に卓上対話型支援スピーカーを設置。
	幼児教育無償化事業補助金	4,042 万円	私立幼稚園や預かり保育の保育料等を無償化するための助成。
	世帯第3子等副食費助成事業	589 万円	国の減免基準から外れる世帯第3子以降の在園児の副食費を無償とするため、実施する保育園等へ助成。
新	3歳未満児の保育料の引き下げ	370 万円	子育て世代全体の負担軽減効果を図るため、3歳未満児の保育料を最大で13%引き下げ。

	事業	事業費	事業概要
	ファミリーサポートセンター利用料助成事業	36 万円	これまでのひとり親世帯等に加えて、多胎児を育児中の世帯も助成対象として拡充。
新	病院群輪番制病院設備整備事業	733 万円	地域の二次救急医療を支える済生会境港総合病院が行う医療機器整備の経費を補助。
新	緊急時感染症予防対策事業	42 万円	緊急時に対応するために必要な感染症予防物品を購入し、備蓄。
新	ロタウイルスワクチン予防接種助成事業	256 万円	ロタウイルスワクチンの定期接種化に伴い、同年度生まれで定期接種対象外となる令和2年4～7月生まれの者への助成を実施。
	産後ケア（子育て世代包括支援センター事業）	67 万円	産後間もない母親の心身のケアや育児支援のため、無料で利用できるデイサービスやショートステイ等を実施。
	健康教育事業	49 万円	骨粗しょう症予防のほか、フィットネススタジオとの連携による運動の習慣付けや食事指導などを実施。
新	計画策定委員会費（介護保険費）	24 万円	令和3年度から3か年の計画となる「第8期境港市高齢者福祉計画・境港市介護保険事業計画」を策定。
新	医療費データ分析事業（国民健康保険費）	308 万円	健康課題を明確にして、今後の保健事業計画策定の資料とするため、レセプトや特定健康診査の結果を分析。
新	高校生通学費助成事業	27 万円	境港市在住で県内の遠隔地通学をしている高校生に対して、通学費を助成。
	小学校体育館改修事業	4,496 万円	老朽化した渡小学校体育館の外壁改修や屋上防水、煙突耐震補強などを実施。
	地域学校協働推進事業	662 万円	中学校区を単位とした「コミュニティ・スクール」を順次導入。地域学校協働活動推進員を増員配置。
	外国語指導助手招致事業	1,000 万円	小中学校の英語教育充実のため、外国語指導助手（ALT）を増員して配置。
	中学校外国語指導業務委託事業	1,858 万円	
新	外国人児童生徒等への日本語指導等支援事業	80 万円	外国人生徒に母語での支援や日本語指導を行えるように、日本語指導補助員を配置。
	第三中学校施設整備事業	3 億 5,153 万円	校舎の大規模改造工事および下水道接続工事を実施。
	国際理解教育推進事業	348 万円	中学生をアジア諸国に派遣して、歴史、文化、生活習慣などを体験・学習する。派遣生徒数を増員して実施。

④安心で住みよい生活基盤の充実

	事業	事業費	事業概要
	新屋町会館耐震改修等事業	4,433 万円	地区会館の耐震改修などの工事を実施。
	財ノ木町会館耐震改修等事業	4,859 万円	
新	渡地区集会所建設事業	628 万円	現在の地区集会所を解体し、合同の集会所を新築（実施設計）。
	防災行政無線システム更新事業	3 億 7,627 万円	市のアナログ防災行政無線を2か年でデジタル防災行政無線に更新する整備工事を実施。
新	津波・洪水ハザードマップ更新事業	42 万円	津波災害警戒区域の指定を受け、基準水位（津波が建物等に衝突した際のせき上げ高）などを加えたハザードマップに更新。
	自主防災組織育成補助金	135 万円	自主防災組織が行う資機材整備や訓練活動などに対し、補助金を交付。結成後、5年おきに資機材整備の補助が利用できるよう制度の見直しを実施。
新	小規模自治会合併支援事業	80 万円	令和2年度から3年間、小規模自治会が合併した場合に、新たに結成された自治会の運営・活動を支援する補助金を交付。
	農地耕作条件改善事業	1,644 万円	農地の確保を図るため、荒廃農地などを耕作できる状態に再生する事業を実施。
新	米川防災減災機器設置事業負担金	20 万円	米川土地改良区が監視体制の強化や、災害時の迅速な対応を行うために設置する水位計の設置経費の一部を負担。

	事業	事業費	事業概要
新	市民バス整備事業	2,392 万円	水木しげる作品のキャラクターによるフルラッピングおよび内装のラッピングを施した、はまる一歩バスを購入。
	中海護岸整備関連事業	1 億 2,801 万円	渡漁港周辺の整備を実施。令和 2 年度に周辺道路を全線供用開始予定。
	生活関連道整備事業	1 億 3,622 万円	道路、側溝などの新設・改修を実施。
	安全・安心な道づくり事業	8,859 万円	橋梁・舗装等の個別施設計画に基づく老朽化対策や通学路の安全対策工事などを実施。
	都市計画マスタープラン改定事業	750 万円	現行のマスタープランを令和元年度から 2 か年で改定。
	空家等対策事業	117 万円	「境港市空家等対策計画」に基づき、総合的な空家対策を推進。新たに空家の無料相談会を実施。
新	市営渡団地エコ改修事業	800 万円	老朽化した市営渡団地の給排水設備などを改修（実施設計）。
	市営住宅建替事業	1 億 704 万円	市営住宅整備方針に基づく市営誠道団地の新築および解体。
新	ストックマネジメント計画策定（下水道事業費）	2,000 万円	施設全体を計画的・効率的に管理するため、下水道センターなどの施設を対象に、令和 2 年度から 2 か年かけて計画を策定。
	美保飛行場周辺まちづくり整備事業	9 億 1,266 万円	境港市民交流センター（仮称）新築工事を令和元年度から 3 か年で実施。（継続費 R 1：18 億 6,546 万円、R 2：9 億 1,131 万円、R 3：19 億 2,259 万円）

⑤市民との連携による誠実な行政運営

	事業	事業費	事業概要
新	まちづくり総合プラン策定事業	72 万円	市が取り組むべき課題、目指すべき方向・目標、その実現に向けた施策や取り組み方針を定めた第 10 次総合計画を策定。
	まちづくり若者委員会運営事業	7 万円	市政について若者との意見交換会を実施。
	市民バス運行事業（夜間運行）	10 万円	「まちづくり若者委員会」からの提言を受け、はまる一歩バスを土曜夜市開催日などに合わせて期間限定で夜間に運行。

⑥その他の取り組み

	事業	事業費	事業概要
新	再生可能エネルギー活用調査・研究事業	1,217 万円	再生可能エネルギー（太陽光）を、リサイクルセンターなどの公共施設で活用するための調査・研究を実施。
新	多文化共生推進事業	33 万円	外国人と日本人の相互理解を深め、安心して地域生活を送れるよう在住外国人のための生活マップ作成や、市役所等に多言語音声翻訳機を導入。
	外国人材地域交流事業	30 万円	外国人材と地域住民等との交流を促進し、外国人材の日本文化への理解や地域住民の外国人材への理解を深めるため、年 2 回交流会を実施。
新	弓ヶ浜サイクリングコース活用イベント支援事業負担金	50 万円	弓ヶ浜サイクリングコースを活用してイベントを実施する団体への補助を行う「大山山麓・日野川流域観光推進協議会」への負担金。
新	文化財説明看板多言語化事業	8 万円	市ホームページの翻訳機能を利用し、指定文化財説明看板の多言語化を実施。
新	海とくらしの史料館のあり方検討委員会開催事業	8 万円	海とくらしの史料館の今後のあり方を検討するため、関係機関や市民を交えて検討委員会を開催。
新	東京 2020 オリ・パラ聖火リレー開催事業	156 万円	本市の聖火リレー出発地点である水木しげる記念館前で式典を開催し、市内小中学生は沿道でリレーを観覧。
	市民温水プール改修事業	1 億 7,397 万円	外壁や各種設備など、老朽箇所の大規模改修工事を実施。

主な事業 (目的別)

【議会費】 1億7,628万円 (+ 2.1%)

議会だよりの発行など、市民に開かれた議会への取り組み、人件費などを計上しています。市議会議員人件費の増(+338万円)などにより368万円の増となっています。

【総務費】 25億764万円 (+ 30.1%)

庁舎施設など市全体の管理経費や徴税、防災などにかかる経費を計上しています。地区会館の耐震改修等事業が減(△2,546万円)となりますが、防災行政無線システム更新事業の増(+3億5,620万円)、自治体クラウドの導入に伴う基幹業務システム運営事業の増(+1億2,534万円)、退職者数の増などに伴う人件費の増(+7,037万円)などにより、前年度に比べ、5億8,021万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
庁舎施設整備事業	2,320万円	分庁舎のトイレおよび外壁改修工事など。
自治コミュニティ助成金	500万円	自治会などのコミュニティ組織が行う備品整備などを助成。
ふるさと納税PR	1億9,671万円	ふるさと納税の寄附者へのプレゼント経費など。
市民バス運行事業	5,999万円	市内全域を循環するコミュニティバス(はまる一歩バス)を運行。
環日本海定期貨客船運航支援	860万円	中海・宍道湖・大山圏域市長会を通じた運航支援の一部負担金。
市長選挙及び市議会議員補欠選挙費	1,865万円	7月に行われる市長選挙および市議会議員補欠選挙の経費。
国勢調査	1,396万円	5年ごとに実施する国勢調査の経費。

【民生費】 57億5,915万円 (+ 0.9%)

保育所待機児童対策をはじめとする子育て施策、障がい者福祉サービスの給付費などを計上しています。障がい児通所支援費の増(+2,107万円)などにより、前年度に比べ、5,350万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
障がいのある人への給付や補助等	10億7,077万円	障害者総合支援法および児童福祉法に基づく障がい者などへの支援や手当の支給。 聴覚障がい者の日中活動の機会や集える場所を提供。
私立保育所、認定こども園などへの委託料	9億6,716万円	私立保育所、認定こども園、小規模保育施設などへの委託料。
〔特別会計〕 国民健康保険医療費への繰出金	3億533万円	保険給付、人間ドック、特定健康診査などを実施する特別会計への繰出金。
〔特別会計〕 後期高齢者医療費への繰出金等	5億6,857万円	後期高齢者の医療給付を行う広域連合への負担金および特別会計への繰出金。
〔特別会計〕 介護保険費への繰出金	5億3,599万円	介護、介護予防サービスの提供などを実施する特別会計への繰出金。

【衛生費】

11億76万円（＋3.1％）

各種がん検診にかかる経費や米子市への可燃ごみ処理委託料などを計上しています。再生可能エネルギー活用調査・研究事業の皆増（＋1,217万円）、病院群輪番制病院設備整備事業の皆増（＋733万円）などにより、前年度に比べ、3,274万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
ごみ減量化	4,600万円	有料ごみ指定袋の作製販売、軟質プラスチック類の分別などを実施。
ごみ処理委託等	2億3,480万円	米子市への可燃ごみ処理委託や鳥取県西部広域行政管理組合への負担金。
健康診査事業	7,345万円	各種がん検診などを医療機関や検診車において実施。
予防接種費	6,499万円	予防接種法に基づく定期予防接種（無料）を実施。

【労働費】

1,447万円（＋2.0％）

境港市シルバー人材センターに対する運営費助成、ファミリーサポートセンターの運営経費などを計上しています。ファミリーサポートセンター事業の増（＋36万円）などにより、前年度に比べ、28万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
シルバー人材センターの運営補助	985万円	高齢者の就業機会の増大と福祉増進を図る。
ファミリーサポートセンター事業	454万円	育児と仕事の両立を手助けし、子育て支援の体制づくりを促進。

【農林水産業費】

2億8,793万円（＋13.3％）

漁業就業者確保対策事業、新規就農者等への助成経費などを計上しています。農地耕作条件改善事業が減（△1,656万円）となっていますが、水産業6次化支援事業の皆増（＋2,000万円）、県施行漁港改修事業地元負担金の増（＋1,199万円）などにより、前年度に比べ、3,374万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
新規就農者等への助成	2,726万円	新規就農者等に対して、機械・施設の整備費などを助成。
伯州綿製品地産地消推進事業	549万円	伯州綿を使用した製品を新生児や高齢者に贈呈など。
深田川水路構造物整備事業	300万円	市が管理する深田川の水路改修。
県施行漁港改修事業 地元負担金	1,436万円	県が行う境漁港の改修事業に伴う地元負担金。

【商工費】

12億7,346万円（△24.0％）

プレミアム付商品券事業の皆減（△2億3,623万円）、企業自立支援事業の減（△1億6,124万円）、みなとまち商店街運営費補助金の皆減（△919万円）などにより、前年度に比べ、4億202万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
消費者行政推進事業	341万円	消費生活問題の相談対応や啓発を行う、消費生活相談室の管理運営費。
各種制度融資預託金	9億9,338万円	各種制度融資を通じて企業などの経営安定化を図る。
境港市観光協会補助金	3,312万円	観光協会事務局および観光案内所の運営費を補助。
水木しげる記念館運営事業	7,343万円	「水木しげるロード」の核施設である「水木しげる記念館」を運営する。

【土木費】 16億1,167万円（+7.8%）

防災・安全交付金などを活用したインフラの老朽化対策および通学路の安全対策などを計上しています。下水道事業費特別会計繰出金が減（△7,322万円）となっていますが、市営住宅建替事業の皆増（+1億704万円）や生活関連道整備事業の増（+4,544万円）などにより、前年度に比べ、1億1,639万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
さかいポートサウナ運営	3,466万円	水産・港湾業従事者などを対象とした福利厚生施設（浴場・サウナ）の管理運営費。
道路の維持管理	2,714万円	計画的に道路の整備を行うとともに、危険箇所の補修などを実施。
公園維持管理	4,794万円	公園の施設修繕や除草・清掃などの維持管理を実施。
市営住宅の維持管理	2,358万円	市営住宅の施設・設備の修繕などを実施。
住宅・建築物関係補助金	4,316万円	一戸建て住宅や建築物の耐震診断等、店舗等のバリアフリー改修やアスベスト撤去等、道路に接する危険ブロック塀撤去などの費用を助成。
高齢者等運転免許自主返納支援事業	113万円	運転免許を自主返納した高齢者等にはまる一歩バスの回数乗車券を交付。

【消防費】 4億2,307万円（△14.5%）

鳥取県西部広域行政管理組合負担金（消防費）の減（△7,372万円）などにより、前年度に比べ、7,198万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
鳥取県西部広域行政管理組合負担金（消防費）	3億9,718万円	鳥取県西部広域行政管理組合構成市町村で負担する負担金。

【教育費】 25億9,313万円（△16.9%）

大規模改修に伴い第三中学校施設整備事業が増（+3億3,998万円）、市民温水プール改修事業が増（+1億6,394万円）となっていますが、境港市民交流センター（仮称）の減（△9億8,773万円）などにより、前年度に比べ、5億2,582万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
給食センター運営	2億8,843万円	市内小・中学校9校の児童・生徒に学校給食を提供など。
小中学校の管理	1億2,777万円	学校主事の人件費、施設の維持管理費など。
小中学校 ICT 環境整備事業	2,880万円	小中学校に ICT 支援員の派遣委託料、液晶ディスプレイ等の賃借料など。
公民館・学習等供用施設運営	8,842万円	公民館（7カ所）、学習等供用施設（3カ所）の人件費、維持管理費など。
体育施設運営	4,822万円	市民体育館等および市民温水プールの指定管理委託料など。
図書館・市史編さん室運営	3,487万円	図書館、市史編さん室の人件費、維持管理費など。

【公債費】 12億9,244万円（△5.2%）

長期借入金元金償還金の減などにより、前年度に比べ7,071万円の減となっています。